

令和2年度 猪苗代町教育委員会

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書（概要）

1 教育委員会の点検・評価について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正が行われ、新たに教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、毎年点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないとされた。（法第26条第1項）また、上記の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされている。（同条第2項）

2 猪苗代町教育委員会の点検・評価について

（1）点検・評価の対象根拠

猪苗代町教育委員会基本目標に基づき、令和2年度の重点事項の執行状況を対象とした。

（2）令和2年度重点事項

別紙の通り

（3）評価の具体的な方法

①事業名

②項目

③達成目標・内容（数値目標）

④点検・評価（自己評価）

⑤有識者による意見・評価

（4）学識経験者の知見の活用

点検及び評価を行うに当たっては、教育に関する学識経験を有する者の知見の活用を図ることにより、客観性を確保するためのものであり、猪苗代町教育委員会の教育に関する事務の点検及び評価の実施に関する要綱に基づき、3名の委員の方々から様々な意見・指導を得ることができた。

① 外部評価開催日：令和3年8月30日

② 猪苗代町教育委員会外部評価委員（3名）

3 点検・評価の結果

別紙の通り

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書【概要】

1 教育総務課

重点事項	充実した活力ある学習環境の整備		
事業名	1. 学校施設の長寿命化と適正配置		
主要項目	①学校施設の長寿命化計画（個別施設計画）の策定 ②町教育施設適正配置の推進 ③感染症対策等の学校教育活動継続支援		
自己評価	学校施設の長寿命化計画の策定については、全国の計画策定率15%と低い状況の中において、本町においては計画を策定し公表することができた。統合中学校の整備については、予定どおり進めることができた。また、小学校の統廃合についても議論を深めることができた。町内小中学校に感染症対策の空気清浄機等の備品、小学4年～中学3年までの児童生徒を対象にタブレットパソコンの整備が図られた。		C
外部評価	コロナ禍にも関わらず、子供たちの学びの機会の確保に努められていることに感謝申し上げる。また、事業については計画どおり進めてほしい。		B
重点事項	「生きる力」の基礎を培う教育活動の実践、支援		
事業名	1. 児童生徒に夢と希望を与え、生きる力の基礎を培う学校づくりの推進 2. 国際化、情報化等（変化）に対応する教育の実践 3. キャリア教育の推進 4. 生徒指導の充実		
主要項目	①存在感（特色）のある、学校づくりの実践、②「私たちの誓い6ヶ条」運動の実践 ほか		
自己評価	町特別支援教育アドバイザーの配置より、特別な支援を必要とする園児児童生徒の支援のあり方について助言を行うことができ、キレ目のない支援を推進することができた。ALTを派遣することにより、英語学習や外国語活動において担任をサポートし、より専門的な見地から児童生徒の支援をすることができた。新型コロナウイルス感染症の影響により、活動内容が制限されたものの、体験したことをもとにキャリア・パスポートを作成し、キャリア教育を推進できた。「猪苗代町いじめ防止対策基本方針」に基づき、いじめの未然防止の取り組みを行った。いじめの認知件数は令和元年度より減少しており、学校との情報共有や指導助言を通して、重大ないじめ案件には至っていない。		C
外部評価	司書補がいるのといないのでは、子供達が図書室に行く行かないがある。支援員の配置は担任一人の指導では全員を理解させるのは難しいので、今後とも支援してほしい。SNSは本当に恐ろしいので教育の推進をお願いする。		B
重点事項	「確かな学力」を育む授業づくりの実践、支援		
事業名	1. 一人一人に確かな学力をつけさせる授業づくりの実践 2. 各学年、学級、個人の学力実態把握による授業改善の実践・支援 3. 一人一人の学習意欲を喚起し、やる気を育てる工夫、実践		
主要項目	①個人研究、校内研究の推進及び町学力向上推進事業による授業研究会、学力検査の実施と結果の分析・活用 ほか		
自己評価	外部講師を招聘しての授業研究会や学生ボランティア事業については、中止となったが、要請訪問や町合同授業研究会では、指導助言を通して教職員一人ひとりの授業力の向上に役立てる機会にすることができた。新型コロナウイルス感染症のため4月から5月に19日間の臨時休業の措置を行った。その後、徐々に感染拡大防止策を講じながらの授業を再開したが、授業の遅れを取り戻したのは12月くらいであった。昨年度の状況を踏まえると、主体的・対話的に学ぶ学習の設定が難しい状況も見られた。その中で、子どもたちの学びを保障するために、どの学校も一丸となって取り組み、基礎的・基本的な技能の向上が図ることができた。スパーリングコンテストや各種検定を実施することにより、学習の基礎基本の定着を図り、達成感や学習意欲の向上を図ることにつながった。		C
外部評価	コロナ禍により、多くの活動ができなかったことは大変残念である。その状況においてもNRT学力検査の平均が全国平均を上回ったことは先生方の努力のおかげで、遅れている児童・生徒がいれば底上げを図ってほしい。		C
重点事項	「健やかな体」をつくる教育活動の実践、支援		
事業名	1. 児童生徒の体力、運動能力の増進 2. 家庭や地域、関係機関との連携による児童生徒の健康増進 3. 災害等緊急時の対応や放射線健康リスク管理に関わる危険予知・対処・回避能力の育成		
主要項目	①体力運動能力の増進、各種大会参加補助 ②食育の推進 ③交通安全教室や放射線教育の実施 ほか		
自己評価	町教委指導主事が町内小中学校の体育授業、放課後活動や部活動に参加し、先生方へ指導方法を伝えたり児童生徒の活動・支援を行った。（のべ516時間※授業396時間・課外活動120時間）本町の子どもの体力、運動能力の実態調査（小5、中2全国平均との比較）では、「体力合計点」については、小学校で全国をやや下回った。中学校でも男子がやや下回った。コロナ禍で臨時休業や活動自粛期間があり、運動会や各種大会の中止等が大きな要因と考えられる。本町でも運動の2極化がみられることも要因の一つである。しかし、中学校の駅伝大会では、上位入賞となるなど成果も見られた。朝食の摂取率調査（年1回）の結果、小学校99.0%、中学校98.2%と目標値を上回ることができた。各小中学校の緊急時対応マニュアルの取り組みにより、災害時の対応について学ぶことができた。通学路の点検を行うことにより児童生徒に危険箇所の注意喚起を図ることができた。		C
外部評価	児童生徒の体力向上の取り組み継続してほしい。朝ごはん・家庭教育の大切さ、防災教育も引き続き続けてほしい。		C

評価基準

自己評価 A：大きく上回る B：やや上回る C：目標達成 D：やや下回る E：大きく下回る
外部評価 A：期待以上 B：やや上回る C：期待どおり D：やや下回る E：期待以下

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書【概要】

2 こども課

重点事項	充実した活力ある学習環境の整備		
事業名	1. こども園施設整備・修繕、教育保育備品整備事業		
主要項目	園児等の快適な教育環境を維持するため、施設の整備・修繕及び教育備品等の整備を行う。		
自己評価	ひまわりこども園は開園5年目を迎え、給食室の照明器具や厨房用オープン等に不具合、さくらこども園は開園9年目を迎え、西側玄関の引き戸や幼児用小便器等に不具合が発生したが、適宜、修繕を実施するとともに、備品整備や保育室の畳表替えを行い快適な教育・保育環境の維持に努めた。		C
外部評価	子供たちが元気で楽しく安全に過ごせる環境が一番であり、環境整備と感染症対策を引き続きお願いしたい。		C
重点事項	「生きる力」の基礎を培う教育活動の実践、支援		
事業名	1. 園児に夢と希望を与え、生きる力の基礎実現を培う園づくりの推進 2. 変化に対応する教育保育の実践 3. 指導の充実		
主要項目	①存在感（特色）あるこども園づくりの実践②特別支援教育の推進 ほか		
自己評価	施設周辺の住民や自然に触れ合いながら教育保育を実施した。特別支援が必要な子どもには専属で保育教諭を交代で配置して対応し、障がい児支援の研修にも積極的に参加してスキルアップを図った。毎年、特別支援を必要とする子どもが増えており、体制強化を図る必要があるが、支援にあたる保育教諭の確保が困難な状況にある。家庭環境が多様化・複雑化しており、子育て相談・支援は専門的な職員配置が困難なため、関係機関と連携して対応した。猪苗代町子どもパワーアップ大作戦により、「話は目と耳と心で聴く」を普段の教育保育から心がけ、「しっかりと褒める」「きちんと叱る」ことを教育活動の基本として実践した。		C
外部評価	体験をすることから学ぶことは多い。特別支援を必要とする子どもが増えてきているが、こども園での対応により対応を引き継ぎながら小学校へ上がっていくという道筋ができますので、細やかな支援の継続と保育教諭の確保をお願いしたい。		B
重点事項	「確かな学力」を育む授業づくりの実践、支援（学びの連続性をもてる保育環境作りの実践、支援）		
事業名	1. 一人ひとりに確かな学びの基礎を培う教育保育の実践 2. 一人ひとりの学びの意欲を喚起し、やる気を育てる工夫、実践		
主要項目	①共通テーマに基づく研究の実践、研修参加推進 ②幼小の円滑な接続の重視 ほか		
自己評価	少ない研修機会に多くの保育教諭が参加し、講演や他園の研究事例等を学習することにより、研修で得た知識を他の保育教諭と共有し、教育保育の現場で実践に役立てた。年長組が小学校へスムーズに入学できるよう、交流事業、体験入学や保育教諭と小学校教諭との引き継ぎ面談を行った。特別支援が必要な子どもの就学については、小学校、教育総務課及び保護者と連携を取り対応した。笑顔で元気に園生活を送ることを目標に、毎朝、リズム体操を実施し、活発な行動を促した。また、絵画コンクールに出品することで、絵を描く楽しさ、豊かな感性と表現能力を培った。		C
外部評価	新型コロナウイルス感染症により体験活動が減ったことは残念である。また、地域・家庭において季節を感じる行事が少なくなっているが、体験することは大事で豊かな心を育ててほしい。		C
重点事項	「健やかな体」をつくる教育活動の実践、支援		
事業名	1. 園児の体力、運動能力の増進 2. 家庭や地域、関係機関との連携による園児の健康増進 3. 災害時緊急時の対応や危険予知、対処・回避能力の育成		
主要項目	①体育的行事の充実 ②「早寝・早起き・朝ご飯」運動の実践 ほか		
自己評価	園庭や遊戯室を有効に利用し、日ごろから体を動かす遊びを取り入れて健康で元気な体づくりに努め、運動会ではその成果を十分発揮することができた。また、毎日の園生活を元気に怪我をしないで過ごすために、朝のラジオ体操やリズム体操を実施し、基礎体力の向上を図った。早寝、早起き、朝ごはん運動を推奨し、子どもたちが家庭や園で元気に過ごせるよう、生活リズムを整える重要性を保護者に周知した。避難訓練では、防災ずきんを活用し毎月様々な災害を想定し、それぞれに応じた回避能力を育成するよう努めた。		C
外部評価	朝食の摂取、食育について給食だよりを活用して情報発信してほしい。避難訓練は、予告なしに実施することで小さいうちから教えることが大切である。		B
重点事項	「家庭の教育力」の回復		
事業名	1. 園、学校・家庭・地域社会の連携、協力体制の構築、推進		
主要項目	①こども園PTAによる各種事業、活動の推進 ②広報活動の実践 ③子育て支援 ほか		
自己評価	行事の運営にあたっては、多数の保護者の協力を得て、運動会や保育発表会などスムーズな運営をすることができた。また、園運営に地域の方々からさまざまな協力をいただき、地域との良好な関係を構築することができた。朝夕の保護者との連絡・報告、園だよりの発行、連絡帳の活用等により信頼関係を構築することができた。		C
外部評価	家庭教育は大事であり、相手の痛みが分かるように教育してほしい。保護者の送迎について、安全運転周知してほしい。		C

評価基準

自己評価 A：大きく上回る B：やや上回る C：目標達成 D：やや下回る E：大きく下回る
外部評価 A：期待以上 B：やや上回る C：期待どおり D：やや下回る E：期待以下

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書【概要】

3 生涯学習課

重点事項	「豊かさと活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	1. 生涯学習の推進		
主要項目	①学習機会と情報提供、相談体制の整備 ②世代間交流事業の充実 ほか		
自己評価	新型コロナウイルスにより、中止した講座やイベントもあるが、感染予防対策や実施方法等について関係者で協議し、可能な限り開催した。放課後子ども教室については、コロナの状況を見据えながら学校や児童クラブなどとも検討を重ね地域住民のご理解ご協力により、安心・安全な体験を提供するように努めた。		C
外部評価	今後ともこのような活動を継続して頂いて、町民の方が楽しい、生きがいのある生涯学習に努めてほしい。		C
重点事項	「豊かさと活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	2. 図書歴史情報館（和みいな）利活用の推進		
主要項目	①図書館サービスの充実 ②歴史情報室の利活用 ほか		
自己評価	年間の来館者数は、新型コロナウイルスの影響で目標からかなり減少しましたが、貸出冊数、貸出期間を倍にしたこともあり、貸出点数は前年度比で9,500点の減にとどまり、32,256点の貸出となりました。読み聞かせについてはほとんど行うことはできませんでしたが、ブックスタート事業、こども園や児童クラブなどへの図書の貸し出しについては、通常程度行うことができました。また、鈴木仁亮展、猪苗代ビブリオバトル、季節の行事に関連したイベントは感染症対策と取りながら実施しました。		C
外部評価	本に興味を持たせる工夫がされており、町民の方に足を運んでもらえる催しの場として活用してほしい。		C
重点事項	「豊かさと活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	3. 文化財の調査・保存・活用事業の推進		
主要項目	①史跡の調査、保存・活用 ②民俗資料の調査、収集・活用 ③埋蔵文化財の調査 ほか		
自己評価	文化財の保存と活用を図るため、県指定史跡である猪苗代城跡附鶴峰城跡を国指定史跡とするため、文化庁及び県教育委員会の指導を受け事業を進めている。民具の収蔵庫として利用している旧猪苗代保育所について、歴史民俗資料館に用途を変更し、公開用の部屋の整理及び展示等の改良を行った。		C
外部評価	町の文化財を保存・周知し、文化財の意識、関心を高め観光振興にも活用してほしい。		C
重点事項	「豊かさと活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	4. 生涯スポーツの振興		
主要項目	①町民を対象にした各種大会や教室等の充実 ②総合型地域スポーツクラブの活用と体力の向上 ほか		
自己評価	町民を対象にした各種大会や教室等の充実については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、町民健康マラソン大会、町民球技大会、町民運動会は中止とさせていただいた。町民球技大会については、参加する地区が減少傾向にあり関係団体より、開催に関する検討も必要ではないかとの意見もあることから、根本的な見直しも必要と考えています。総合型地域スポーツクラブの会員登録数は383名であり、それぞれの活動を行っているが、新型コロナの影響により、スクールコース等の参加者はイベントや利用自粛により減少した。指導者の育成、各種セミナーや研修会の参加、公共スポーツ施設の整備、健康運動教室の開催等、生涯スポーツの振興に努めた。		C
外部評価	町民を対象にした各種大会について、時代の流れで検討は必要。スポ少の有資格者支援してほしい。		C
重点事項	「豊かさと活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	5. 文化活動の推進		
主要項目	①町民主体の文化活動の充実 ②体験交流館（学びいな）の利活用の推進		
自己評価	例年開催している「ファミリーシアター」は、本格的な演劇を無償で鑑賞できるため、好評であった。新型コロナウイルスの流行によって体験交流協会などの事業が予定どおり開催されなかったが、団体の活動意欲が衰えることがないように見守り、支援しながら今後も生涯学習の振興と啓発に力を入れていきたい。		C
外部評価	コロナにより出来ない事業があったのは残念であるが、今後も事業を継続してほしい。		C
重点事項	「豊かさと活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	6. 地域を担う人材の育成		
主要項目	①絆づくり事業による交流の充実、ホストタウン事業による交流の充実 ほか		
自己評価	「母から子への手紙」は、前年度応募者に対するPRハガキ送付に加え、問い合わせの対応に配慮したため、応募総数が前年と同程度の応募総数を維持した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講演会や懇親会を中止したが、それ以外でのおもてなしを徹底し、概ねご満足いただいたように感じた。次年度以降も交流活動等を通して、心の育成を図っていきたい。「思い出の絵手紙」では、新型コロナウイルスにより生活を制限された子どもたちが、思い出を見つけて描いてくれたことを嬉しく感じた。今後も関係機関と協力しながら心身の健全育成に努めたい。		C
外部評価	母から子への手紙、思い出の絵手紙ともに伝えたい思いの発表の場として続けてほしい。		B

評価基準	自己評価	A：大きく上回る	B：やや上回る	C：目標達成	D：やや下回る	E：大きく下回る
	外部評価	A：期待以上	B：やや上回る	C：期待どおり	D：やや下回る	E：期待以下